

市町村名		石垣市					
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】							
事業名	明石地区避難道路整備事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-2-(4)-イ 災害に強い県土づくりと防災体制の強化		
担当部課名	建設部	都市建設課	事業実施 年度	令和 元 年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-10-(2)	
事業内容	災害時の市民や観光客等の安全を確保するため、津波避難道路を整備する。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )						
事業期間中の 予算額・執行額 【単位:千円】		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	合計	
	A. 最終予算額	7,650				7,650	
	B. 執行済額	7,377				7,377	
	うち 交付金充当額	5,901				5,901	
	執行率(%) (B/A)	96.4%				96.4%	
執行状況の説明	事業計画どおり執行した。						
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)	達成状況					
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
	測量設計業務及び道路整備工事の実施	目標	実施				
		実績	実施				
		目標					
		実績					
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)	進捗状況					
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
	測量設計業務及び道路整備工事の完了	目標	完了				
		実績	完了				
		目標					
		実績					
	目標						
	実績						

市町村名	石垣市
<b>沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】</b>	

**事業完了後の取り組み**

	成果目標(指標)	達成/進捗状況				
		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R2年度 目標/発現年度
<b>事業完了後の成果目標</b>	<input type="checkbox"/> 中期にわたる事業効果 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度に発現する事業効果					
	整備された避難経路を活用した避難訓練(1回以上/年)を実施する中で、安心安全に避難できたか等を含め参加者に対してヒアリングを実施することにより、本事業のあり方について検証する。	目 標	1回以上			1回以上
		実 績	-			-
	<参考指標> 地区住民へのアンケート調査を実施し整備前と比較して同避難経路を活用し避難すると回答した世帯の増加割合を検証する。	目 標	20.0%			20.0%
		実 績	42.9%			42.9%
	状況説明	【R2年度】 ・本事業で整備した避難経路については、避難訓練を通じて検証していくこととしていたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響及び同感染症拡大防止のための自粛等も重なり、予定していた避難訓練の実施には至っていない。  <参考指標> ・予定していた避難訓練の実施には至っていないが、整備前の利用者14世帯に対し、整備後は同避難経路を活用すると回答した者20世帯で42.9%増と目標値を上回っている。				

<b>【完了後】事業効果等の確認</b> (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)	<b>【完了後】改善措置等の検討</b> (事業効果の更なる向上等)
--	---------------------------------------

<p>【R2年度】</p> <p>・避難経路について、避難訓練の実施には至っていないが、地域住民からは安心、安全に繋がっているとの意見がある。今後は、新型コロナウイルス感染症拡大が終息したのち、地域の意向等も踏まえた上で、避難訓練の実施及び地域防災活動の展開を図っていく必要がある。</p> <p>&lt;参考指標&gt;</p> <p>・避難経路について、避難訓練の実施には至っていないが、整備後は同避難経路を活用し避難する住民が増加することが、アンケート調査結果より得られている。今後は、新型コロナウイルス感染症拡大が終息したのち、地域の意向等も踏まえた上で、避難訓練の実施及び地域防災活動の展開を図っていく必要がある。</p>	<p>【R2年度】</p> <p>・今後の避難訓練では、整備した避難経路を活用することによって、避難に要する時間や避難できる人数にどのような変化等があったかを参加者に対してヒアリングを実施していくとともに、避難経路について周知していく必要がある。</p> <p>&lt;参考指標&gt;</p> <p>・今後の避難訓練では、整備した避難経路を活用することによって、避難に要する時間や避難できる人数にどのような変化等があったかを参加者に対して再度アンケート調査を実施していくとともに、避難経路について周知していく必要がある。</p>
--	---

**今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)**

<p>【R2年度】</p> <p>・避難訓練については、実施できる時期や内容等を検討していくこととする。併せて、市民や観光客等に避難経路の周知を図るため、市公式ホームページやハザードマップ等を活用し、情報発信に取り組んでいくこととする。</p>
--

市町村名		石垣市					
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】							
事業名	消防救助資器材等整備事業				沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-2-(4)-イ 災害に強い県土づくりと防災体制の強化	
担当部課名	消防本部	警防課	事業実施 年度	平成 30	令和 元	年度 III-10-(2)	
事業内容	災害時の市民や観光客等の安全を確保するため、コンビニエンスストア18店舗にAEDを配備する。また、陸路からの進入・救助が困難な場合における迅速かつ効率的な救助支援活動を行うためのドローンを導入する。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )						
事業期間中の 予算額・執行額 【単位:千円】		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	合計	
	A. 最終予算額	6,471	4,127			10,598	
	B. 執行済額	6,214	4,127			10,341	
	うち 交付金充当額	4,971	3,301			8,272	
	執行率(%) (B/A)	96.0%	100.0%			97.6%	
執行状況の説明	事業計画どおり執行した。						
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)	達成状況					
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	AEDを18台購入	目標	18台				
		実績	18台				
	災害支援用ドローンの整備	目標		実施			
		実績		実施			
	目標						
	実績						
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)	進捗状況					
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	AEDの配備完了	目標	完了				
		実績	完了				
	災害支援用ドローン整備数:2機	目標		2機			
		実績		2機			
	目標						
	実績						

<b>市町村名</b>	<b>石垣市</b>
<b>沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】</b>	

**事業完了後の取り組み**

	成果目標(指標)	達成/進捗状況					
		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R1、2年度 目標/発現年度	
<b>事業完了後の成果目標</b>	<input type="checkbox"/> 中期にわたる事業効果 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度に発現する事業効果						
	AEDを配備したコンビニエンスストアの店員等に応急手当講習会を実施する中で、AEDによる救急処置が理解できたか(80%以上)を含め、参加者に対するアンケートにより本事業の在り方を検証する。	目 標	80%				80%
		実 績	96%				96%
	ドローンを活用した救助訓練(年12回)を実施する中で、ドローン導入前よりも救助が迅速かつ効率的になったかを含め、消防や関係団体と協議して本事業のあり方について検証	目 標		年12回			年12回
		実 績		年18回		年18回	
状況説明	<p>【R1年度】 H30年度に実施したAEDの導入については、コンビニエンスストアにAEDを配備する事で24時間体制で緊急対応が可能となった。AEDを配備したコンビニエンスストア店員22名に対し応急手当講習会を実施し、理解度についてアンケートを実施したところ、応急処置の理解度の目標80%に対して、参加者の理解度は96%となり目標を大きく上回る結果となった。</p> <p>【R2年度】 R1年度に整備されたドローン2機については、ドローン資格取得者(民間資格)3名を中心にドローン操縦士の育成を実施した。併せてドローン運用要領を策定し出動体制を構築した。R2年度でのドローンを活用した救助訓練については年18回実施し、目標訓練回数を上回る結果となった。本事業の検証については、海上保安本部、沖縄県警察等の関係団体と現場活動を通じての情報交換を実施し、安全且つ迅速な活動となる様に協議した。</p>						

<b>【完了後】事業効果等の確認</b> (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)	<b>【完了後】改善措置等の検討</b> (事業効果の更なる向上等)
--	---------------------------------------

<p>【R1年度】 定期的な店員の入れ替えで、応急手当受講者が常駐していない可能性があるほか、店舗周辺で事案が発生した場合、当事者にAEDの存在を把握させる必要がある。</p> <p>【R2年度】 救助・捜索事案においてドローンを使用し、安全で効率的な現場活動が実施出来た。しかし、現場環境・天候によっては使用出来ない場合も有ることから、使用の判断を含め情報共有を迅速に行い、最適な活動となるようにする必要がある。</p>	<p>【R1年度】 定期的に応急手当を受講してもらうために、担当係と調整し定期的な講習会を検討するとともに、119受信時に指令センターでAEDの存在を把握できるように、指令センターとリンクしている本市消防本部管理の情報端末にAED情報を追加していく必要がある。</p> <p>【R2年度】 ドローンを使用しての救助・捜索活動については、全国的にも始まったばかりであり、最新の情報を共有する為に外部講師を招いての講習会を実施する等の取組みが必要である。また、使用方法等については常に改善していき、訓練に落とし込む必要がある。</p>
---	---

**今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)**

<p>【R1年度】 市内18箇所のコンビニエンスストアにAEDを配備する事ができた。今後は定期的な応急手当講習会や事案等を検証し、円滑な救命の連鎖を目指す事で安心、安全な観光都市石垣市として広く内外へ情報発信を行うこととする。</p> <p>【R2年度】 今後のドローンを使用した救助・捜索事案については、現場活動で得た情報の共有化、関係団体との事後検証、最新技術の取得をもとに、より安全で効率的な現場活動となる様に取り組んでいくこととする。</p>
---